

1—52表 世界のLD転炉設置状況

(能力単位: 1,000N・T・)

	稼働中		建設中または計画中	
	基数	年間能力	基数	年間能力
日本	25	10,670	9	4,200
アメリカ	17	7,500	10	8,900
西独	12	3,320	14	7,280
イギリス	6	1,750	6	1,820
フランス	3	570	10	4,750
イタリア	—	—	6	4,620
ベルギー	—	—	8	2,420
オランダ	3	2,200	—	—
ルクセンブルグ	1	130	2	720
スウェーデン	2	110	—	—
ノルウェー	2	500	—	—
フィンランド	—	—	2	550
スペイン	—	—	7	1,130
ポルトガル	2	390	—	—
カナダ	5	1,600	—	—
オーストラリア	—	—	4	1,800
インド	3	830	—	—
トルコ	—	—	2	470
アルジェリア	—	—	3	990
ブラジル	2	330	8	1,480
合計	90	31,880	93	41,790

注) 1962年7月現在, Kaiser Engineers の調査による(鉄鋼連盟資料)

ソ連についてはこの調査にふくまれていないが, 少なくとも2基は稼働中とみられる。

1962年7月現在の世界のLD転炉の設置状況は1-52表のごとくで、わが国は稼働基数においても能力においても最高を占めており、普及がいかに急速であったかを物語っている。しかし各国とも建設計画中のもののがかなり多く、将来LD転炉が世界的にいっそう普及することは確実である。

産業構造調査会編 『日本の産業構造 第三巻』 通商産業研究社、
昭和39年、648頁、表は649頁。